

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立木川小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、本年度412名の児童が在籍している。その中で、特別支援学級に在籍する児童は年々増加傾向にあり、4月当初で68名が在籍している。通級指導教室に通う児童や、日本語指導が必要な児童も増加傾向にあり、「特別の教育課程」で学習する児童が全校児童の20%を超える状況となっている。不登校の在籍比率もコロナ禍以降高い水準(3.5~4.3%)で推移している。また、令和10年度の西中島小学校と木川南小学校との統合を控え、学校選択制や指定校変更で就学する児童も100名を超えている。様々な要因が絡み合いながら、児童の状況や児童を取り巻く状況が大きく変化している。多様性を受け入れながら自尊感情の醸成、社会性の育成、基本的な生活習慣の確立を目指していく。

全国学力・学習状況調査や学力経年調査において、近年、大阪市・全国平均よりも上回る結果となることも増え、一定の学力が身につくにつれ、3年間の算数科研究を通して、子どもが協働的に学びを深めるための授業づくりを行ってきた。結果、昨年度の学力経年調査において、4~6年生で前年度の結果よりも向上した。全国体力・運動能力調査においては、体力合計点が大阪市・全国平均を上回る結果が続いていたが、昨年度は男子女子ともに下回る結果となった。校舎増改築工事に伴い、講堂の使用ができず、運動場の使用範囲も制限されるが、工夫して体力向上の取り組みを行っていく。

I C Tの活用については、授業中での活用を進め、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて取り組みを行っている。今後、学習者用端末とクラウド環境の連携を進め、より効果的な活用を行っていく。また、教職員の働き方については、内容の精査は必要であるが、年々時間外勤務時間が減少しており一定の成果が表れている。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「インターネットや生成A I、S N S等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む） やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 22 時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立木川小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。(前年度 85.4%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(前年度 78.2%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が楽しく登校できるように、安全・安心な教育環境を充実させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童アンケートにおいて、「楽しく学校生活を送っている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>安全な学校生活の過ごし方を全校朝会や安全の日など様々な方法で児童に知らせる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童アンケートにおいて、いつも「学校の約束を守っていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 90%にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>「いいところみつけ」する場を、各学級の実態に応じて「帰りの会」や「学級会」の時間に設けるとともに、異学年での「いいところみつけ」を行う。</p> <p>生活目標に「自分や友だちのいいところをたくさん見つけよう」という月を設ける。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童アンケートにおいて、肯定的回答の児童の割合を「自分によいところがあると思いますか」の項目においては 70%以上、「友だちの良いところを見つけることができましたか」の項目においては 85%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>様々な体験活動を通して、人や事との出会いの場を多く設け、豊かな心を育む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>遠足や社会見学、異学年交流等の体験活動を年間 3 回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>世界の国々の文化や言語を知ることで、理解を深めあう。</p> <p>自分や自国を大切にする気持ちを育てることで、他国を大切にする態度を養う。</p> <p>外国にルーツのある子どもたちを尊重し、周囲に理解される場面を作り、自己肯定感を高める。</p>	

指標

年に1回「友だちのことを知ろう」週間を設け、様々な国の文化にふれられるようにする。

低学年、高学年と国語科や生活科・総合的な学習の時間などの学習を通し、日本語指導センターに通級している児童との交流を図る。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立木川小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。(前年度実績なし)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。(前年度 88.7%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>漢字学習を計画的に進め、漢字の定着を図る。</p> <p>指標</p> <p>1～3年生は3学期に漢字の学年末テスト、4年生は2学期に漢字能力検定を行う。</p> <p>5・6年生は漢字能力検定で合格率 72%を目指す。</p> <p>(令和 7 年度 ⇒ 5年: 87%・6年: 88%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語科の指導法の研究を進める。家庭学習の充実を図る。</p> <p>指標</p> <p>全学年で年間 6 回、国語科で研究授業を行い、研究討議会で話し合われたことを記録・整理し、日々の授業に生かすようにする。</p> <p>学校アンケートの「授業の友だちとの話し合い活動の中で自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりすることができましたか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 70%にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>委員会活動や体育週間で児童が体を動かすことに関心を高めたり、知識を深めたりできるように活動を工夫していく。</p> <p>指標</p> <p>体育週間を年間 2 回以上行う。</p> <p>学校アンケートにおける「外で体を動かして、遊ぶことができましたか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>正しい手洗いの仕方を知り、実践する習慣を身につける。</p> <p>「早寝・早起きめあてカード」を活用し、同じくらの時刻に寝て、起きる習慣を身につける。</p>	

<p>指標</p> <p>学期に1回生活点検週間などを設け、児童の健康の意識を高める。 「早寝・早起き週間」を年に1回以上実施し、保護者に啓発を図る。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>学校給食を中心に「食」への関心を高め、望ましい食習慣を身につけられるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>全校集会などで児童が食の関心を高めたり、知識を深めたりできるように年1回以上の発表を行ったり、掲示物を作成したりするなど委員会活動を工夫していく。 各学級で、給食カレンダーや給食だよりなどを活用したり、栄養教育推進事業による栄養指導を年1回以上行ったりしながら、食への関心を深める指導を継続して行う。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式例 2)

大阪市立木川小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。 (前年度 87%) ○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 22 時間以下とする。 (前年度 22 時間 18 分)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取り組み内容 1 (基本的な方向 6、教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進) 1 人 1 台学習者用端末を含め、ICT 機器を積極的に活用した授業を行う (情報モラルを含む)。 指標 ICT を効果的に学習に活用し、情報活用能力 (ICT) チェックリストの 13 項目中、10 項目以上「○」と答える児童の割合を 75%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 定時退勤や年休の取得を促す。 指標 ゆとりの日を週 1 回以上設定する 学校閉庁日については、夏季長期休業期間中に 5 日以上設定する。	
取組内容③【基本的な方向 9、家庭・地域等と連携・協議した教育の推進】 運動会や絵画展などの主な学校行事を保護者や地域に公開するとともに、学習参観や学校公開のもち方を工夫する。 児童の頑張っている姿を学校だより・学年だより・学校ホームページなどを通して、家庭・地域に向けて情報発信することに努める。 指標 学期に 1 度以上、参観または行事の公開を行う。 年に 2 回以上学校公開日を設け、保護者や地域の方への紹介に努める。 学校だよりや学年だよりを月に 1 回以上発行するとともに、月に 1 回以上各学年が HP を更新する。	
取組内容④【基本的な方向 9、家庭・地域等と連携・協議した教育の推進】 全学年において、地域の方や他校児童との体験 (交流) 活動等を通して、人や事との出会いの場を多く設け、豊かな心を育む。 指標 全学年において、地域の方他校児童と共に活動する学習を計画する。 ゲストティーチャーを招いての出前授業を、全学年において年間 1 回以上行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式例 3)

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--